

会計名 一般会計			施設管理事業				担当部 生涯学習部	
款 10			項 5			目 9	担当課 東刈谷市民センター	
						課等長名 鈴木 康則		
						作成者 稲垣 克利		
P L A A N	第7次総合計画		分野 基本施策 施策の内容	教育文化 生涯学習 生涯学習施設の利用促進				
	目的		生涯学習施設（東刈谷市民センター）として維持管理に努め、利用者の利便を図る。		主たる内容 施設利用に係る受付事務、施設清掃、各種設備機器の日常・定期点検を通じて、施設の適正な維持・保守管理を行う。			
	対象者		市民					
	実施方法		一部委託	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市生涯学習推進計画		
事業期間		S57～		根拠法令	社会教育法、刈谷市市民センター条例、刈谷市公民館条例			
B D O	20年度実績		21年度実績		22年度実績		23年度計画	
	東刈谷公民館利用者数 42,727人 施設利用率 43.8%		東刈谷公民館利用者数 42,096人 施設利用率 42.9%		東刈谷公民館利用者数 44,622人 施設利用率 42.3%		東刈谷公民館利用予定数 44,900人 施設利用予定率 42.6%	
	成果 (できたこと)		身近な学習施設である東刈谷市民センターで、公民館利用者が気軽に利用できるよう努めた。					
	課題 (できなかったこと)		施設利用率が前年度と比較して0.6%減で、施設利用率を増やす施策が求められる。					
	指標名称			実績値			目標値	
				20年度	21年度	22年度	23年度	25年度
	東刈谷公民館利用者数			42,727人	42,096人	44,622人	44,900人	45,800人
施設利用率			43.8%	42.9%	42.3%	42.6%	43.0%	
他市との比較検証		近隣市(安城市)においても、地区公民館単位で、施設管理コストの削減に努め、また、積極的に利用者からの意見収集に努め、適切に対処することで、よりよい施設環境の提供を行っている。						
C	総事業コスト		20年度 (決算)	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (予算)	平成22年度 事業費内訳	
	単位：千円				12,745	13,933	11 需用費 3,518,828 円	
	事業費		9,204	8,256	8,396	9,365	12 役務費 131,119 円	
	特定財源			1,781	1,800	1,752	13 委託料 4,684,475 円	
	一般財源			6,475	6,596	7,613	14 使用料及び賃借料 61,875 円	
	職員人件費				4,349	4,568	合計 8,396,297 円	
建設事業	全体事業費				備考(補助名称等)			
	22年度迄の累積事業費							
	24年度以降の事業費見込							

会計名 一般会計			市民講座開設事業				担当部 生涯学習部	
款 10			項 5			目 9	担当課 東刈谷市民センター	
						課等長名 鈴木 康則		
						作成者 稲垣 克利		
P A L A N 事業概要	第7次総合計画		分野 基本施策 施策の内容	教育文化 生涯学習 学習機会の充実				
	目的		多様化する市民の学習要求に応え、誰もが気軽に学べる機会と場所を提供するため、市民の生涯学習の推進と支援を図る。		主たる内容	市民ニーズの把握に努め、各種講座を前期3講座、後期3講座に分けて約3か月間（各10回程度）で開設する。1講座当たりの受講者数は、10人～20人程度で実施する。		
	対象者		市民					
	実施方法		直営	位置づけ	関連計画 第2次刈谷市生涯学習推進計画			
	事業期間		不明～		根拠法令	社会教育法		
B D O 事業実績	20年度実績		21年度実績		22年度実績		23年度計画	
	市民講座開設数 6講座 市民講座受講者数 157人		市民講座開設数 6講座 市民講座受講者数 112人		市民講座開設数 6講座 市民講座受講者数 109人		市民講座開設予定数 6講座 市民講座受講予定者数 113人	
	成果 (できたこと)		身近な学習施設である市民センターでの市民講座を通じて、受講者109人の学習意欲を高め、学習の場を提供した。					
	課題 (できなかったこと)		受講者数が前年度と比較して2.7%減で、受講者数を増やす施策が求められる。					
	指標名称			実績値			目標値	
				20年度	21年度	22年度	23年度	25年度
	市民講座受講者数			157人	112人	109人	113人	116人
他市との比較検証			近隣市(安城市)においても、地区公民館単位で、市民が多様な学習機会の提供を受けることができるよう、地域の特性や公共的課題を鑑み、多種多様な講座を開催し、生涯学習の推進を行っている。					
C 事業コスト	総事業コスト		20年度 (決算)	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (予算)	平成22年度 事業費内訳	
	単位：千円				4,830	5,069		
	事業費		554	543	481	501	8 報償費	414,000 円
	特定財源			110	102	109	11 需用費	45,449 円
	一般財源			433	379	392	12 役務費	22,000 円
	職員人件費				4,349	4,568	合計	481,449 円
建設事業		全体事業費		備考(補助名称等)				
		22年度迄の累積事業費						
		24年度以降の事業費見込						

会計名			学習発表会実施事業				担当部	生涯学習部			
一般会計							担当課	東刈谷市民センター			
款	項	目					課等長名	鈴木 康則			
10	5	9	作成者	稲垣 克利							
P L A A N	第7次総合計画		分野 基本施策 施策の内容	教育文化 生涯学習 学習活動の支援							
	目的		東刈谷市民センターの利用団体が日頃の学習成果を発表、展示することにより、学習意欲の向上と団体間の交流や親睦を図る。				主たる内容		学習成果の発表・展示、芸能音楽の発表、茶会を年1回、東刈谷市民センター全館で実施する。		
	対象者		東刈谷市民センターの利用団体及び地域住民								
	実施方法		一部委託	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市生涯学習推進計画					
	事業期間		S57～	根拠法令	社会教育法						
B D O	20年度実績		21年度実績		22年度実績		23年度計画				
	3月1日(日)開催 参加団体数 41団体 参加者数 397人 入場者数 1,253人		3月7日(日)開催 参加団体数 39団体 参加者数 427人 入場者数 923人		2月20日(日)開催 参加団体数 38団体 参加者数 352人 入場者数 1,046人		2月下旬開催予定 参加予定団体数 39団体 参加者予定数 370人 入場者予定数 1,070人				
	成果 (できたこと)		学習発表会を通じて参加者352人の学習意欲の向上、新たな学習課題の発見につながった。また、参加者と地域住民との交流や親睦を深めた。								
	課題 (できなかったこと)		参加団体数、参加者数が前年度実績を下回ったため、参加団体数等を拡大する施策が求められる。								
	指標名称			実績値			目標値				
			20年度	21年度	22年度	23年度	25年度				
参加団体数			41団体	39団体	38団体	39団体	40団体				
来館者数(参加者数+入場者数)			1,650人	1,350人	1,398人	1,440人	1,500人				
他市との比較検証		近隣市(安城市)においても公民館単位で、利用団体が学習成果の発表する「公民館まつり」を年1回開催し、地域の生涯学習活動の啓発を行っている。									
C 事業 コスト	総事業コスト		20年度 (決算)	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (予算)	平成22年度 事業費内訳				
	単位：千円				1,770	1,843	13 委託料 320,000 円				
	事業費		320	320	320	320	合計 320,000 円				
	財源										
	特定財源			0	0	0					
	一般財源			320	320	320					
職員人件費				1,450	1,523						
建設事業		全体事業費		0	備考(補助名称等)						
		22年度迄の累積事業費		0							
		24年度以降の事業費見込									